

チェーンメールとは

幸せのメール（昔はやった不幸の手紙のようなもの）が届き、5人に送るように指示されていたが他人に迷惑をかけたくないので対応に苦慮している。

このようなメールは他人に再送信すると、どんどん拡大して終わりにはメールサーバーに障害を与たり、通信混乱を招く恐れがあるので、決して転送せずに、即刻削除すること。

自分の所で断ち切る勇気を

爆弾メールとは

一度に大量のメールを送信され、メールボックスがいっぱいとなり、必要なメールが取り出せなくなった。

自分の加入するプロバイダーに連絡し、自分のメールボックスにあるメールの削除を依頼する。可能であれば、発信者からのメールの受信拒否を設定してもらおう。

プロバイダーに依頼してメールボックスを空にしてもらおうと、今までに保存しておいた必要なメールも全て削除されてしまう恐れがあるので要注意

2. もしチェーンメールがサーバーを襲ったらどうなるのが考えてみよう。

はじめの1人が1メール、10Kバイトのメールを5人に出すと、メールサーバーでは50Kバイトのメモリを消費する。送られた5人が、それぞれ5人にまた同じようにメールを出すと、どんどんメモリを消費する。そこで、サーバーのメール保存領域を例えば1Mバイトとするといったい何人に伝わったとき、保存しきれなくなるのか考えてみよう。

$$10\text{Kバイト} \times 5 + (10\text{Kバイト} \times 5) \times 5 + (10\text{Kバイト} \times 5) \times 25 =$$

1550kバイト
約1.5Mバイト

3 1人に伝わったときに、フロッピーディスク1枚分がいっぱいになってしまう。

3. 電子メールによるトラブルを防ぐための自分自身でできる対策を考えてみよう。

4. 電子メールに大きなファイルを添付してしまったとき、どのような事が起こるか考えてみよう。

2 発展的な学習

電子メールでのトラブルを防ぐ方法を、話し合おう。

テーマ	電子メールの正しい使い方				
概要	電子メールのトラブルの現象と対策を調べてみよう。				
ねらい	電子メールについて正しい知識を身につけることが出来るようにしよう。				
関連する主な科目・項目	第4章情報社会を支える情報技術 第3節情報技術の進展が社会に及ぼす影響	難度	易 ● 普 難	想定時間数	約 1 時間
準備するもの		作成者	各 務 友 浩		

インターネットを使って、情報のやり取りを相手とのコミュニケーションの方法に電子メールという手段が多く利用されるとても便利な道具である。しかし、電子メールはその反面、使い方を間違えると大変なことになる。

1 学習の展開

1. 電子メールのトラブルの例をインターネット、新聞などでトラブルの現象と対策を調べてみよう。

参考 ホームページ

http://www.telesa.or.jp/html/990426_3_04.htm

ねずみ講とは

このような仕組みはねずみ講（無限連鎖講）と呼ばれ、法律に抵触するので、決して実行はしないこと。なお、行なった場合は自分も罪に問われるので注意。何度もこのようなメールが届いた場合は、警察に問い合わせる。

実社会同様、自分が被害者になると同時に加害者になる可能性もあるので、ねずみ講メールかなと思ったら、絶対に転送しないこと。

SPAMメールとは

身に覚えのないところから届くダイレクトメールや、ねずみ講に類するメール等自分にとって不要なメールが頻繁に届き、本来の必要なメールを捜すのに大変苦労する。

SPAMメールが届いた場合、メール本文およびヘッダー部分を保存し、発信元プロバイダーへ連絡する。

自分が加入しているプロバイダーに連絡すれば、その様なメールの受信拒否をすることができる場合がある。詳しくはプロバイダーに問い合わせよう